



日パ・ウェルフェア・アソシエーション(NWA)
2006年度 パキスタンプロジェクト年間計画
(2006年04月01日～2007年03月31日まで)

日パ・ウェルフェア・アソシエーション(NWA)は、2005年10月8日のパキスタン地震発生直後から第1次緊急支援として、一番被害の大きかったバラコットに緊急支援テントを設営し、医療支援を中心に行ってきました。第2次中期支援では、イスラマバード郊外に被災民救援キャンプ村を開設し、約4ヶ月間、「厳冬に一人の死者も出さない」を合い言葉に運営を行いました。そして、第3次長期支援は、山間の村へ戻った被災者の自立を手助けする支援です。3月下旬から5月末までを掛けて、村へ戻った被災者の生活実態調査を行い、支援内容を下記の通り決定いたしました。

また NWA では、長期プロジェクトとして、2004年からギルギットでの母子保健センターの建設やマチュルーでの幼児手洗い教室プロジェクトに取り組んできました。マチュルー・プロジェクトは計画通りに進んでいますが、ギルギット・プロジェクトのセンター建設は、地域の宗教的な対立などにより予想外の障害が発生して、未だ完成に至っておりません。今年度中の完成をめざします。

A. NWA 緊急支援プロジェクト (パキスタン地震第3次長期支援計画)

1. NWA イスラマバードテント村から山の村へ戻った被災者の生活実態調査 (3月下旬～5月末)

< 調査日程 >

- 3月29日 ・NWA イスラマバードテント村で暮らしていた脳性麻痺の被災者を送ってバラコットへ
・バラコットの NWA 緊急支援ベースキャンプ跡地でテント生活する被災者の生活状況調査
- 4月16日 ・NWA イスラマバードテント村からカシミールへ戻った地震被災者の生活状況調査
・医療支援(巡回医療・医薬品配布)
- 4月18日 ・バラコット周辺でテント生活する地震被災者の生活状況調査
・足利工業大学の先生方とソーラークッカー普及支援
- 4月25日 ・NWA イスラマバードテント村からファリダバード村へ戻った地震被災者の生活状況調査
～27日 ・生活支援(食糧配布)
・医療支援(巡回医療・医薬品配布)
- 5月03日 ・バラコット、ハングライ村方面でテント生活をする被災者の生活状況調査
・生活支援(食糧配布)
・医療支援(巡回医療・医薬品配布)
- 5月13日 ・ファリダバード村(ヌーリー、シャルディミ、カラス、ナッカ集落)の生活状況・現状調査
～19日 ・生活支援(食糧配布)
・医療支援(巡回医療・医薬品配布)
・ヌーリー集落への学校テント・女性用コミュニティ・テントの設置
・ヌーリー小学校の開校

2. ファリダバード、ハングライ、カシミールへ戻った被災民の生活支援 (6月～)

3月下旬から5月末にかけて、山間の村へ戻った被災者たちの生活実態を調査したところ、ほとんどの被災者の家屋が全壊、ひどい所では、家屋が建っていた土地までもが地滑りなどで失われているという状況でした。現在

は、NWA イスラマバード被災民救援キャンプ村が援助したテントを、山の急斜面の残った土地に張って最低限の生活を営んでいます。今までの生活の糧は、農業・酪農・出稼ぎなどで賄っていた被災者が殆どです。今回の地震は、生活の糧の殆どを破壊し尽くしました。

私たちは、村人が何を求めているのか、どのような支援が必要とされているのかを、現地に長期滞在し、村人と同じ生活をしながら調査しました。村人が一番に求めているものは、家屋の修理・再建設です。早く修理・建設しないと、また厳しい冬がやってきます。家の修理・建設が進まないことが気かりで、「食欲がない」「働く気にならない」と訴える被災者も多かったです。多くの被災者は崩壊した家から材木などを掘り出し確保していました。「材木はあるので、屋根を作るためのトタンが欲しい」と訴えています。政府・国連などの支援機関は、家屋修復のための支援物資をある程度、配布していると聞いていますが、正確な現実はつかめません。

NWA では、家屋の建設・修理補助、ライフライン(道路・水など)の修復補助を行うとともに、村への医薬品の配布(巡回医療を含む)や食糧配布を実施予定です。また、ファリダバード村ヌーリー集落にコミュニティ・テントを設置し、ヌーリー小学校を開校・運営します。

3. 奨学金制度の検討 (6月～)

地震により親を亡くした子どもや、学校へ行けなくなった子ども及び学校が崩壊して授業が開始できない地区に住む子どもを対象に奨学金制度を確立します。

4. 友好団体の被災民支援に対するアドバイス及び具体的手助け (4月～)

現在、日本青年会議所から被災者支援のためのアドバイスと手助けをして欲しいと要請されています。希望は巡回医療を中心とした支援ですのでアドバイス及び、具体的な援助をしながらNWAとしての巡回医療も進めていきます。

B. NWA 長期プロジェクト

1. ギルギット・プロジェクト(1999年4月～)

1999年4月に開始された、女性を対象とした縫製・刺繍教室、識字教室を継続して運営します。また、2004年4月から開始された母子保健指導センターの建設は、今年度開校を目指します。

2. マチュルー・プロジェクト (2004年10月～)

2004年10月から開始された、5歳児を対象とした幼児衛生手洗い教室は、今年度から4歳児、5歳児も対象とします。(ただし、4歳児については、テストケースです。)

また、新一年生を対象としたプライベート・スクールを開校、5月10日よりスタートしました。

女性を対象とした保健衛生・縫製教室、並びに男性を対象とした衛生教育・コミュニティーセンターを継続して運営します。

C. 八升豆プロジェクト

イスラマバード郊外の畑で、八升豆(学名:ムクナ)の栽培を実施します。

換金可能な農作物の栽培...ということで、八升豆を試験的に栽培し、一人でも多くの現金収入につながる、あるいは生活向上につながる支援に結び付けたいと思います。

以上